

施工説明書

ポスト一体型宅配ボックス
〈門柱ユニット〉

KS-GP22A

工事店様へ

施工の前にこの「施工説明書」をよくお読みの上、正しく施工してください。

- 施工前に外観の損傷がないこと、動作に問題がないことを確認してください。
- 施工中に製品が損傷しないように十分な養生を行ってください。
- 施工が原因で発生した損傷や故障については当社では責任を負いかねます。

安全上のご注意 ご利用の方や他者への危険・損害を防止するための重要な内容ですので必ずお守りください。

● 説明を無視した使用方法によって生じる〈危険や損害の程度〉を次の表示で区分し説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡や重大な事故の発生が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「けがや物的損害の発生が想定される」内容です。

● お守りいただく〈内容の種類〉を次の絵表示で区分し説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。
	このような絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

 警告

- 交流100V以外の電源で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 調光機能及び、水銀灯器具のついた回路への接続はしないでください。
- 蛍スイッチ(表示灯付きのスイッチ類)及び人感センサー類は使用しないでください。
LEDに弱電流が流れると、完全に消灯しない場合があります。
- 非常用照明器具、誘導灯器具として使用しないでください。
- 分解・改造は絶対にしないでください。火災や感電の原因となります。



- 配線工事は法規にしたがって必ず有資格者が行ってください。
誤った配線工事は漏電、感電や火災の恐れがあります。
- 分電盤からLED照明までの配線は専用回線を使用してください。他の機器による負荷を防ぐためです。
- 施工と清掃の際は、必ず電源を切ってください。

 注意

- 通行の妨げとなる場所に設置しないでください。けがの発生や事故の恐れがあります。
- 本体に重い物を乗せたり、寄りかかったりしないでください。
- ホース、高圧洗浄機による直接の水洗いはしないでください。故障の原因となります。



- 付属部品の取り付けの際は締め過ぎに注意してください。
- 工具等で電線を傷つけないよう注意してください。
- 腐食の原因になりますので、基礎用コンクリート及びモルタルに急結剤、海砂を使用しないでください。
- 製品の意匠面にコンクリート、モルタルが付着した場合は速やかに清掃してください。
- LED照明を取り付ける際は主電源を切ってから行なってください。
- LED照明はD種接地工事を行なってください。
- 重量物のため、取付時は必要に応じて2人以上で行なってください。
- 製品取付後、外装工事を行う場合は、十分な養生を行なってください。
- 製品に化学薬品(酸・シンナー等)をかけないでください。塗装はがれやさび発生等の原因になります。

施工上のお願ひ

- 製品に化学薬品(酸・シンナー等)をかけないでください。変形・変色やさび発生等の原因になります。
- 製品施工後にタイルの洗浄液や工事による鉄の削屑が付着しないようご注意ください。
工事によるチリ・ホコリ・洗浄液等が錠前に影響を与え、作動異常を起こしたり、もらいさびを起こす場合があります。
また、表面保護には養生テープではなくマスキングテープをご使用ください。作業後は速やかに取り外してください。
- 本製品は樹脂製品です。施工の際にインパクトドライバーを使用しないでください。
- 取付工事には保護用手袋を着用して作業してください。

養生に関するお願ひ

- 製品の施工後、内・外装工事を行う際の製品の養生はビニール袋をかぶせるなどの熱がこもる養生はしないでください。
内部が高温になり樹脂部品の変形につながります。

梱包内容

2	1	12	1	6	2	2	1



CD管φ14
(支柱内部に収納)



コネクタ
CD管φ14用



ジョイント
ナット



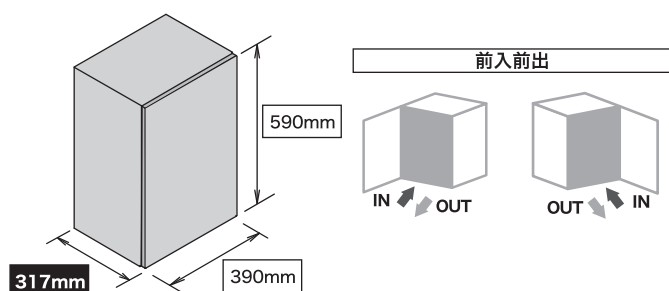
コネクタ
PF管φ16用

LED 照明付き仕様 → 各 **2** 個

LED 照明無し仕様 → 各 **1** 個

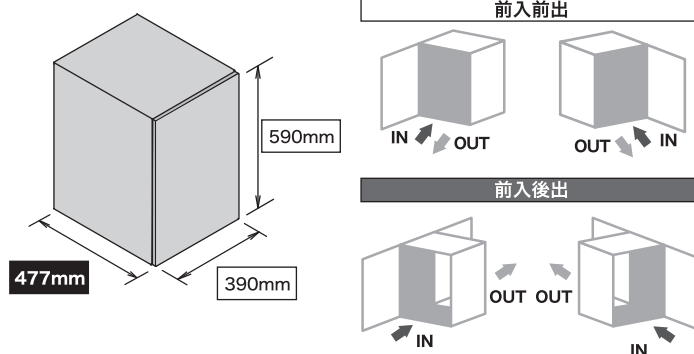
製品仕様・各部の名称（ポスト一体型宅配ボックス本体）

サイズ：M

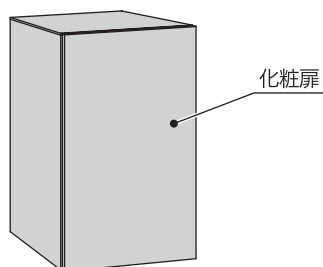


正面

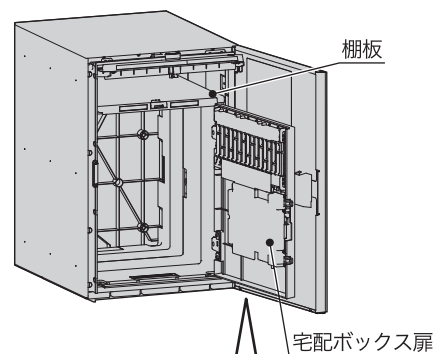
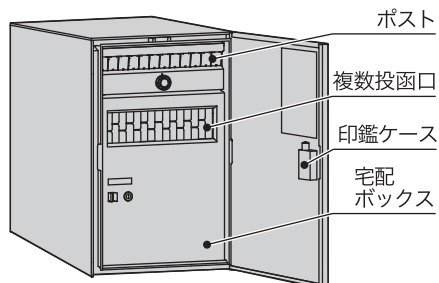
サイズ：L



化粧扉内側



化粧扉



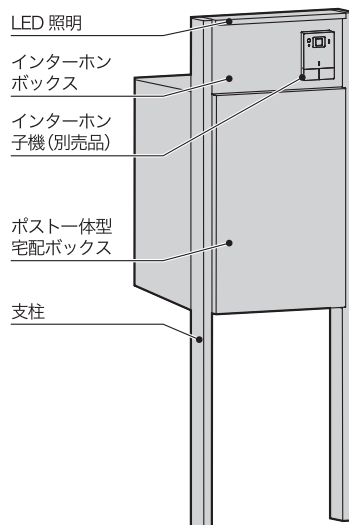
注意

施工の際に【化粧扉】【棚板】【宅配ボックス扉】を持たないでください。
これらを持つことで、製品の歪みや破損の原因となります。

各部の名称・製品納まり図（門柱ユニット）

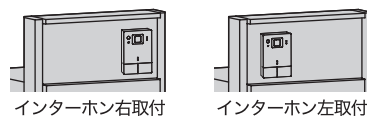
※ポスト一体型宅配ボックス・インターホンボックス・支柱はそれぞれ別梱包になります。

各部の名称

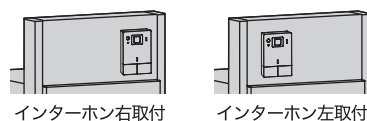


インターホンボックス全4種類

●LED 照明付仕様

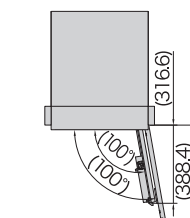


●LED 照明無仕様

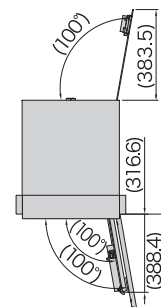


製品納まり図

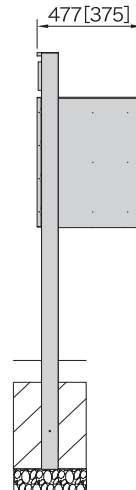
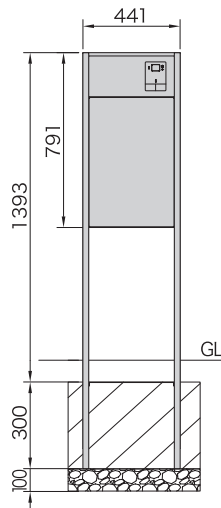
□はサイズ：Mを表します。



前入前出仕様の場合



前入後出仕様の場合
(サイズ：Lのみ)



※図は LED 照明付・右勝手・インターホン右取付仕様です。

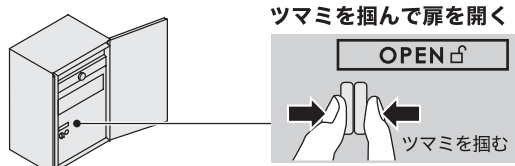
扉の開け方

⚠ 注意 誤って扉を施錠しないようご注意ください。施錠してしまった場合は、付属の取扱説明書を確認し、扉を開けてください。

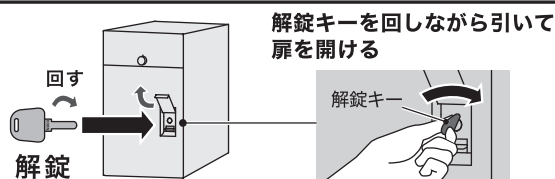
宅配ボックス部（シリンダー錠）

※解錠キーは取扱説明書が入った袋に同梱されています。

前入前出仕様の場合：製品正面から解錠



前入後出仕様の場合：製品背面から解錠



宅配ボックスは2通りの施錠方法があります。誤って扉を施錠しないようご注意ください。

施錠された場合、宅配ボックス扉の表示が **LOCK** になります。

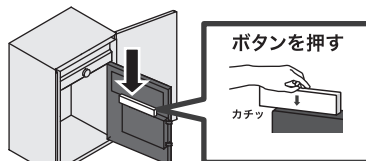
⚠ 注意

・複数投函口に手や物を入れる



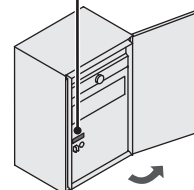
手や物を入れる

・宅配ボックス扉の裏にあるボタンを押す



ボタンを押す

カチッ



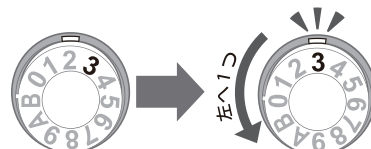
ポスト部（ダイヤル錠）

●納品時は扉が開くことを防ぐため、ダイヤル錠を右に1つ回しています。

施工時に扉を開く際は、ダイヤル錠を左に1つ回して開錠してください。

●上記の方法で開錠ができなかった場合は、ポスト内部に貼られている

開錠番号のとおりに回して開錠してください。



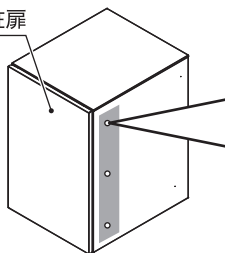
1 ポスト一体型宅配ボックス側面に取り付け穴を開ける

製品の両側面の扉側にある**3か所×2(合計6か所)**のガイドを目印に、**φ8mm**のドリルで穴を開けてください。

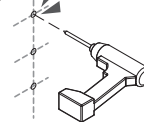


- ・**φ8mmのドリル**で穴を開けてください。これ以上の大きさで穴を開けると雨水浸入の原因となります。
- ・穴あけによってバリが出た場合は取り除いてください。

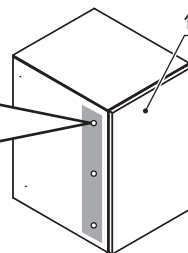
化粧扉



**φ8mmのドリルで
左右3か所(計6か所)
に穴あけ**



化粧扉



2 門柱を組み立てる

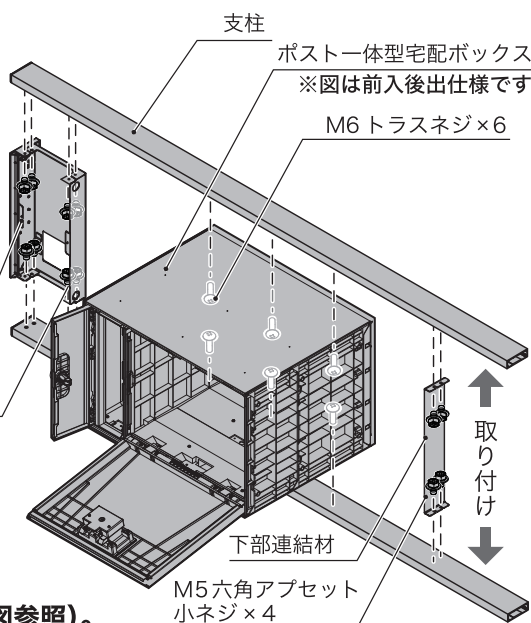
インターホンボックスの背面のネジを外し、背面パネルと内部のインターホンステー、蝶ナット、フランジナットを取り外します。



取り外した背面パネル、インターホンステー、蝶ナット、フランジナットはインターホン子機取付け時(P.6~P.7)に使用しますので**紛失されません**ようご注意ください。

インターホン
ボックス

M5六角アプセット
小ネジ×8



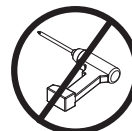
支柱に各部材を付属のネジ類で取り付けます。

- ・インターホンボックス：六角アプセット小ネジで**8カ所**
- ・下部連結材：六角アプセット小ネジで**4カ所**
- ・ポスト一体型宅配ボックス：M6トラスネジで**6カ所**

※支柱にある穴は宅配ボックスの背面側のものを使用します(下図参照)。

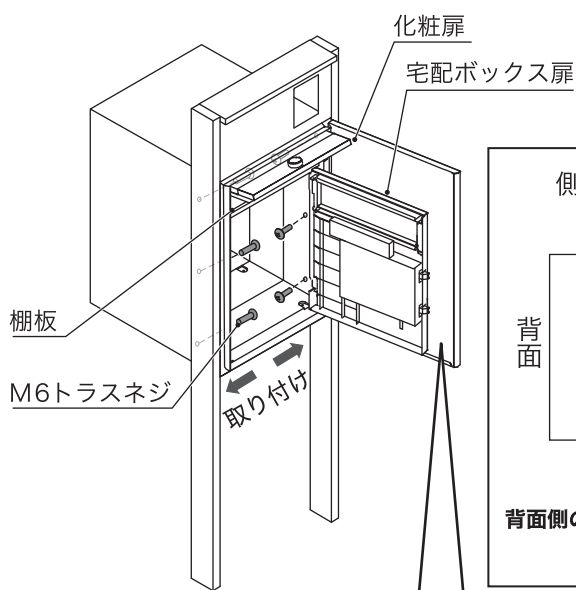


ポスト一体型宅配ボックスを取り付ける際はインパクトドライバーを使用しないで下さい。製品が破損する恐れがあります。



インパクトドライバー不可
(ポスト一体型宅配ボックス)

前入前出仕様の場合

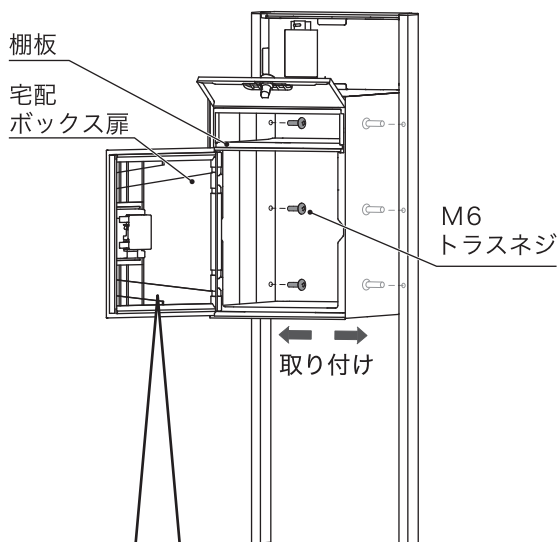


側面から見た図

背面
扉
背面側の穴をご使用ください

前入後出仕様の場合

※背面側から取り付けてください



施工の際に**【化粧扉】【棚板】【宅配ボックス扉】**を持たないでください。これらを持つことで、製品の歪みや破損の原因となります。

3 基礎に穴を掘る

右図と下記寸法を参考に、基礎に必要な穴を掘ります。

参考寸法 ●幅……600mm ●深さ……400mm
●奥行……400mm

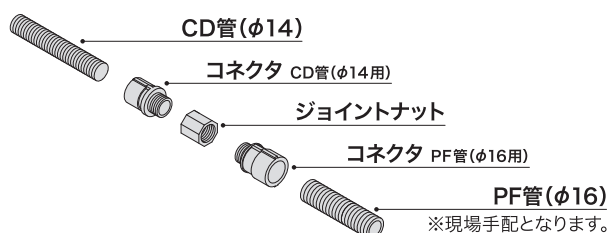
4 穴に碎石を敷く

3で開けた穴に碎石を敷いて底を突き固めます。

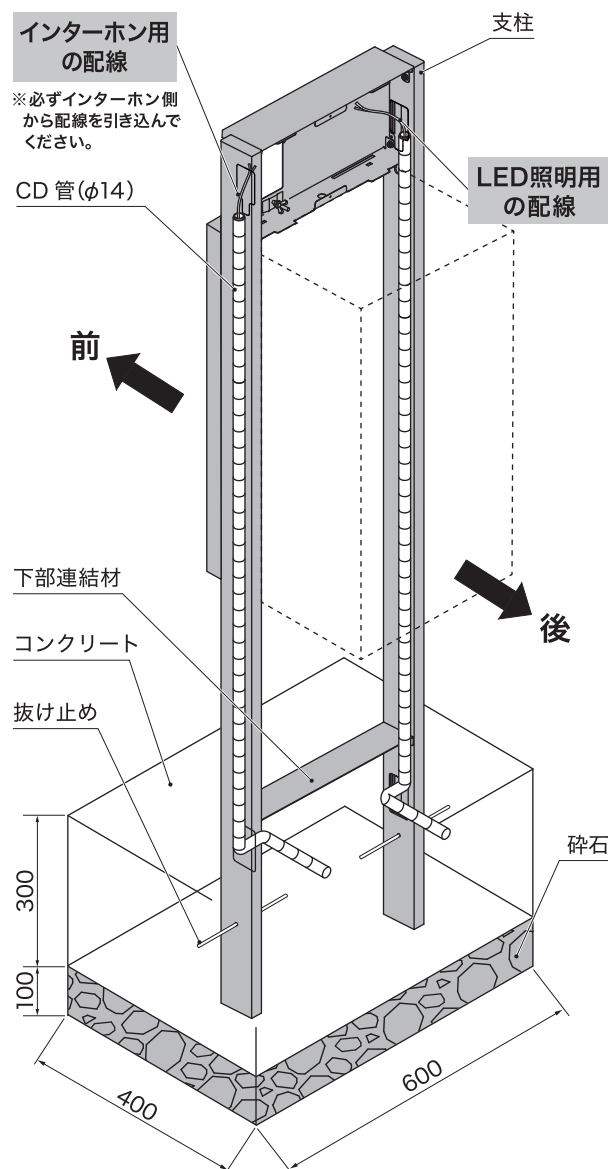
△注意 碎石を敷かないと支柱内部に水が溜まり、腐食の原因になりますので必ず敷いてください。

5 配線を引き込む

- 1 インターホン用の配線をインターホン側のCD管から門柱内部へ引き込んでください。
- 2 〈LED照明付仕様〉の場合はLED照明用の配線を、もう一方のCD管から門柱内部へ引き込んでください。
- 3 PF管を使用する場合は付属のコネクタでCD管と接続してください。



△注意 LED照明とインターホン子機の配線をする場合は必ず左右のCD管から別々に引き出してください。



6 抜け止めを差し込み、仮固定する

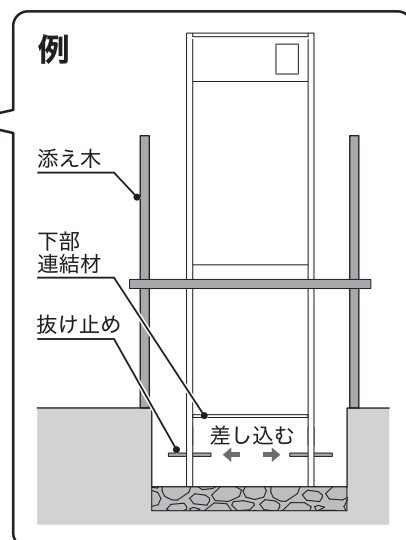
水平を出しながら支柱を立てて、添え木（現場手配）等で仮固定します。その後、左右の足の下部にそれぞれ付属の抜け止めを差し込みます。

7 コンクリートを流し込む

下部連結材が少し埋まるくらいが目安です。

8 盛り土などで仕上げる

コンクリートが固まったら添え木を取り除き、盛り土などで表面を仕上げてください。



インターホン子機取付方法



取り付けるインターホンの種類をご確認ください！

ナスタインターホンとそれ以外のインターホン（パナソニック、アイホンなど）で施工方法が異なります。

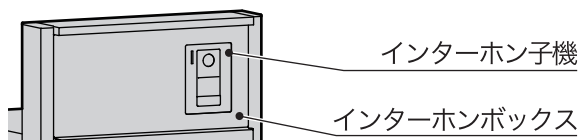


ナスタインターホンは表面に下記ロゴが印字されています。

Nasta

パナソニック/アイホンなどのインターホンの場合

インターホン子機の奥行きを調整しながら設置してください。



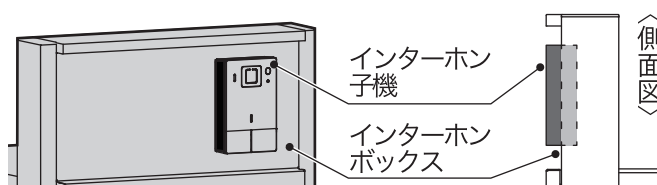
門柱ユニット全仕様共通：広角レンズタイプのインターホンなど、カメラの向きや角度・画角によってはインターホンボックスなどの映り込みが発生する場合があります。

LED照明付門柱ユニット仕様：広角レンズタイプのインターホンなど、カメラの向きや角度・画角によっては照明の光が映り込み、映像が見えにくくなる場合があります。

ナスタインターホンの場合 (KS-DP01 シリーズ)

インターホン子機を半分埋め込むように設置してください。

※取付方法：P.7



※インターホンの表側半分が表面に出た状態が完成です

パナソニック/アイホンなどのインターホンの場合

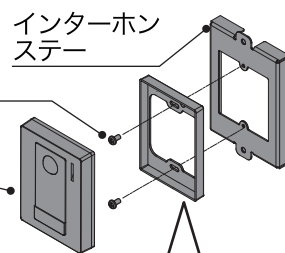
1 インターホン子機と インターホンステーを取り付ける

インターホンステーに、付属のなべ頭 M4×8(2本)を使用しインターホン子機を取り付けます。

※取付方法はお使いになるインターホン子機に付属している施工説明書をご参照ください。

本製品の
付属品

なべ頭
M4×8(2本)



インターホン子機

⚠ 注意 取付方向にご注意ください。

2 1をインターホンボックスに固定する

奥行調整用フランジナットを回し、インターホン子機の厚さに合わせて奥行きを調整してください。

その後 **1** を蝶ナット(3個)を使用して固定してください。

奥行調整用
フランジナット

インターホン
ステー

取り
付け

蝶ナット

取り付け方向
注意

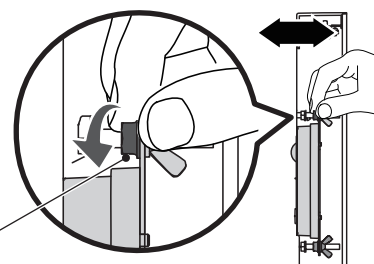
手前 取付

平らな面が手前

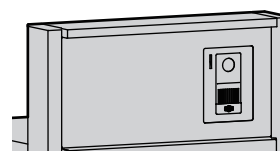
インターホン奥行調整方法

奥行調整用フランジナットを前後に回しながら調整し、インターホン子機の厚さに合わせて取り付けてください。

奥行調整用フランジナット



完成図



ナスタインターホンの場合

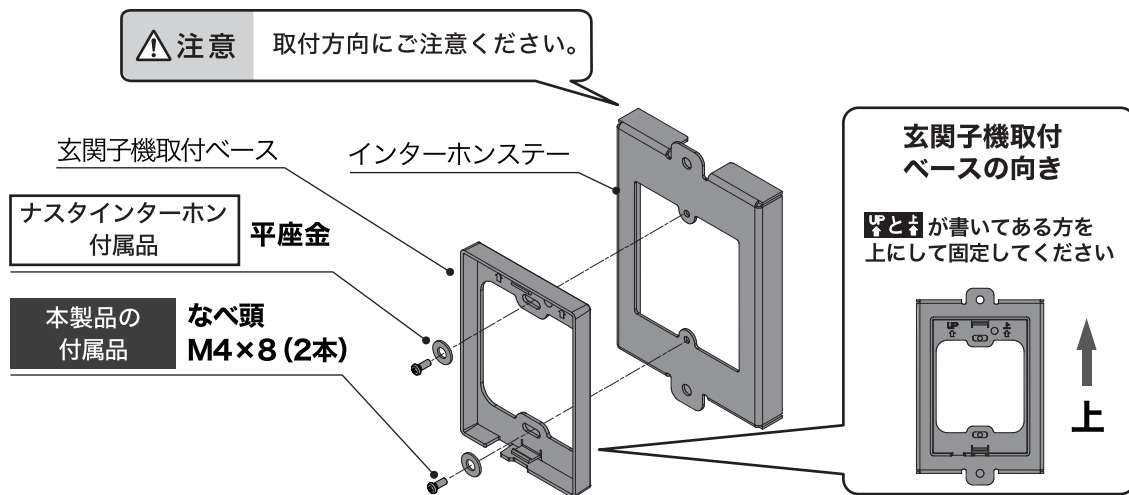
⚠ 注意

ナスタインターホンの取付は、本紙とナスタインターホンに付属している施工説明書を合わせてご参照ください。

1 インターホン子機とインターホンステーを取り付ける

インターホンステーに、付属のなべ頭 M4×8(2本)を使用しインターホン子機を取り付けます。

※取付方法はお使いになるインターホン子機に付属している施工説明書をご参照ください。

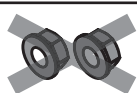


2 1とインターホン子機をインターホンボックスに固定する

1を蝶ナット(3個)を使用し奥まで固定してください。その後、正面からインターホン子機を押し込み、外れないことを確認してください。

⚠ 注意

奥行調整用フランジナットは使用しません。



インターホン
ステー

インターホンボックス

取り
付け

インターホン子機

2 押し込む

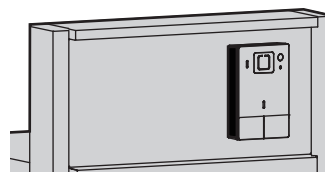
正面からパチンと音が鳴るまで押し込む

1 固定する

奥まで入れ、
蝶ナットで固定

完成図

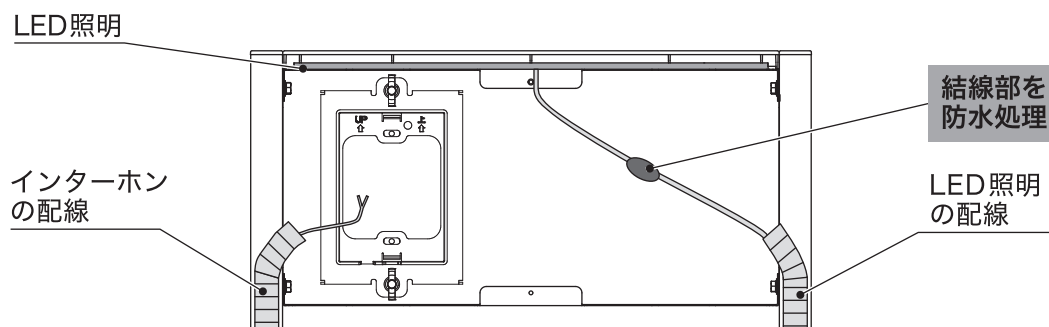
※インターホンの表側半分が
表面に出た状態が完成です



1 結線・配線を固定する

- ① インターホン子機をインターホンの説明書に従って結線してください。
- ② LED 照明付仕様の場合は、LED 照明の配線と CD 管から出ている配線を結線してください。
ケーブルクランプで配線を固定してください。（結線部は防水処理をしてください）

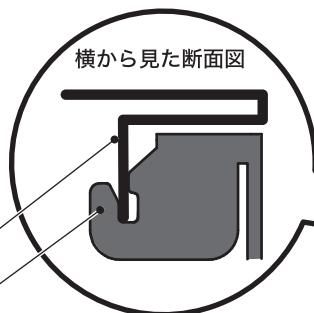
△ 注意 防水処理を施さないとショートのおそれがあります。必ず防水処理を行ってください。



2 背面パネルを取り付ける

背面パネルのツメを入れ込み
パネルをはめ、必ずネジを締め
込んで固定してください。

インターホンボックス天面
背面パネルのツメ



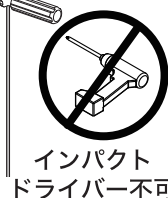
△ 注意

- ・両側のツメがしっかり入り込んでいることを確認してください。
- ・取り付けの際は配線を傷つけないようにご注意ください。
- ・背面パネルのネジを締め込む際は、インパクトドライバーを使用しないでください。

△ 注意 必ずねじを締め込み
固定してください。

背面パネル

プラス
ドライバー



施工後は必ず下記項目をチェック ☒ してください

チ
ェ
ッ
ク
欄

- | | | |
|--------------------------|--------------------------------|--|
| ☐ | 各部のねじの緩み、がたつきはありませんか？ ➡ | 固定が弱いと強度不足となり、落下のおそれがあります。 |
| ☐ | 扉の開閉に不具合はありませんか？ ➡ | 製品が正しく使用できない恐れがあります。
製品がゆがんだり、物が挟まったりしていないかご確認ください。 |
| ☐ | 養生にビニールを使用していませんか？ ➡ | 製品内部が高温になり、樹脂部品の変形につながるため
絶対に行わないでください。 |
| ☐ | 施工後に取扱説明書と解錠キーをお客様へお渡ししましたか？ ➡ | 必ずお客様へお渡しください。 |